

# 「肝臓における代謝調節と 発がんの分子メカニズム」

松本道宏先生

国立国際医療研究所 糖尿病研究センター  
分子代謝制御研究部 部長

日時：2025年12月2日(火) 講演：17:00～18:00

場所：医学図書館2階 十全記念スタジオ

肝臓における脂肪蓄積は、肝慢性炎症や線維化、さらには肝硬変や肝がんの誘因になることが知られています。肝臓での脂肪蓄積には、糖質・脂質・アミノ酸などの代謝と密接に関連します。

松本先生らは、過栄養や肥満での肝脂肪蓄積の原因となる肝脂肪酸合成酵素 (Fasn) の欠損モデルなどの解析から、脂肪蓄積が引き起こす病態の解明を進めてこられました。

本セミナーでは、脂肪肝から肝がんに至るまで、代謝調節が及ぼす作用について、最新の知見を併せてお話しいただく予定です。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

Matsukawa T, et al. Hepatic FASN deficiency differentially affects nonalcoholic fatty liver disease and diabetes in mouse obesity models.

**JCI Insight**. 2023 Sep 8;8(17):e161282.

Yano H, et al. PHD3 regulates glucose metabolism by suppressing stress-induced signalling and optimising gluconeogenesis and insulin signalling in hepatocytes.

**Sci Rep**. 2018 Sep 24;8(1):14290.

Sakai M, et al. The GCN5-CITED2-PKA signalling module controls hepatic glucose metabolism through a cAMP-induced substrate switch.

**Nat Commun**. 2016 Nov 22;7:13147.

Sakai M, et al. CITED2 links hormonal signaling to PGC-1 $\alpha$  acetylation in the regulation of gluconeogenesis.

**Nat Med**. 2012 Mar;18(4):612-7.

医学専攻・博士課程専攻共通 Up-to-date セミナーとして認定します

お問い合わせ先：金沢大学 新学術創成研究機構 次世代医療創成コア  
栄養・代謝研究ユニット 井上 啓 (内線82-2814)